

# 令和6年度 静岡県道路交通環境安全推進連絡会議 本会議

## 議事要旨

### 1. 議事

1. 令和6年中の交通事故発生状況について
2. 静岡県道路交通環境安全推進連絡会議 会則の改正について
3. 議題
  - (1) 特定交通安全施設等整備事業の推進（推進プログラム）について
  - (2) 生活道路の交通安全対策について
    - ・ゾーン30プラス登録状況
    - ・ゾーン30プラス登録へ向けた支援状況
    - ・「ゾーン30プラス」の整備計画の策定について（報告）
    - ・ゾーン30プラス短期対策の完了及び効果検証（報告）
  - (3) 静岡県事故ゼロプランについて
    - ・令和6年度の取り組み概要
    - ・事故ゼロプランによる事故削減効果
    - ・事故ゼロプランの推移
    - ・対策済み区間に対する効果評価
    - ・事故ゼロプランの新規追加区間
    - ・事故危険区間の対策効果事例
    - ・新規追加区間の選定手法と効果評価手法の課題について
    - ・令和7年度の道路利用者意見収集の実施について
    - ・令和7年度の事故ゼロプランの活動予定
  - (4) 事故危険箇所について
    - ・令和6年度時点での進捗状況
    - ・道路管理者別の進捗状況
4. 報告事項
  - (1) 合同現地地点検の実施報告

### 2. 議事要旨

議題（1）特定交通安全施設等整備事業の推進（推進プログラム）について

- ・今年度の実施結果について確認した。

議題（2）生活道路の交通安全対策について

（ゾーン30プラスの登録状況）

- ・静岡県内のゾーン30プラス登録箇所について、今年度は新たに3エリア登録となり、令和6年度末時点で計14エリアとなることを確認した。

（ゾーン30プラスの登録に向けた支援状況）

- ・静岡国道事務所の取組として、現況交通分析を3地区、整備効果分析を1地区、「交通安全対策モデル地域」の通学路対策の検討に向けた分析を4地区に対して実施したことを確認した。
- ・浜松河川国道事務所の取組として、現況交通分析を1地区（浜松市湖東地区）、整備効果分析を3地区（浜松市中央区長上地区、浜松市中央区飯田町地区、御前崎市

池新田地区) に対して実施した。また、整備完了に伴う現地確認を2地区(浜松市中央区長上地区、浜松市中央区飯田町地区) に対して実施したことを確認した。

### 議題(3) 静岡県事故ゼロプランについて

- ・ R1~R4の事故データに基づき、今年度の効果評価対象37区間を評価し、事業完了が13区間、追加対策検討が4区間となることなどを確認した。
- ・ 追加対策検討のうち国道1号 篠原東交差点は事故発生状況を踏まえ、選定理由を“地域の声に基づく選定”から“事故データに基づく選定”へと変更することを確認した。
- ・ 事故データに基づき1区間を、新規に選定することを確認した。
- ・ 近年対策を実施した事故危険区間での対策効果事例を共有・確認した。
- ・ 令和5年度に挙げられた事故危険区間の選定手法および効果評価手法に関する課題への対応案を確認した。
- ・ 道路利用者の意見収集について、社会資本重点整備計画の更新と合わせて令和7年度に実施することを確認した。

### 議題(4) 事故危険箇所について

- ・ 静岡県内の事故危険箇所(R3年度指定) 137箇所のうち、令和6年度末までに対策が完了する箇所は全体の90%にあたる123箇所であることを確認した。
- ・ 残る14箇所については令和7年度に対策着手・実施を予定していることを確認した。

### 総評(埼玉大学大学院 久保田名誉教授)

- ・ 静岡県の交通事故における死者は日本全体と比較し削減率が大きい事が分かる。
- ・ 事故ゼロプランの整理については、平成の終わりごろに定めたルールに沿いながら、箇所毎の判断により対応している。ルールの見直しを考える時期が来ているとも思われる。
- ・ 生活道路対策は自転車の走行位置が適正されたという効果が印象的。生活道路対策と自転車対策は独立して行ってきたが生活道路対策での自転車の安全化にも着目したい。
- ・ 生活道路対策の効果は統一した指標で比較評価したい。平均値よりも30km/h超過や85パータイル値速度等が、指標として望ましいと考えられる。静岡県が全国の模範になるよう取組を進めてもらいたい。

—以上—